

計画・交通研究会

Association for Planning and Transportation Studies

会報 2013-5

発行日：平成25年5月31日
発行元：一般社団法人 計画・交通研究会

目次

Opinion	1-2
計画交通研究会に何を求めるか？ ～「国土から学ぶ」人間社会の社会基盤～	
News Letters	2-3
事業報告・活動報告	
Backyard	3
事務局通信	

Opinion 計画交通研究会に何を求めるか？ ～「国土から学ぶ」人間社会の社会基盤～

家田 仁
新会長

東京大学教授・社会基盤学専攻

突然ですが当会の会長をお引き受けすることになりました。会員の皆様、どうか宜しくお願い申し上げます。

と、いささか戸惑いながら本稿を書いております。当「計画交通研究会」は、八十島義之助先生が中心になって、交通事業や都市開発そして地域おこしなどに関わる研究者や実務者が気軽に集まり、意見交換や懇親を深める場として1974年に設立され、紀尾井町に事務所を置いて発足しました。ちょうどわが国の経済成長とインフラ整備の大型拡大時期とも重なり、研究会や懇親会などで行われる分野を越えた談論風発から、面白いプロジェクトのアイデアの種が見出されたり、会を通じて創り出された人的な繋がりや交流が、複数の組織を跨るような難しいプロジェクトを円滑に推進する上でも役立つことが多々あったと先輩方から聞きます。筆者などは、最も若い世代でしたので何の貢献もできませんでしたが、八十島先生はよく「キミらは暇なときに気楽に来てビールでも飲んでいればそれでいいんだよ」などと言われたものです。まあ、そういう時代だったわけです。

八十島先生が1998年に急逝された後、中村英夫先生が跡をお継ぎになって当会の体制をより確固としたものにされました。さらに黒川洗先生、森地茂先生へとバトンが渡されて今日に至っています。当会の中核をなすところの事務局長職も第一世代の橋本昭夫さんから、2008年より現在の水野高信さんに交代し、オフィスも紀尾井町から麴町へ、さらに本年3月からは霞ヶ関

ビル5階へと移転しました。また、2009年には一般社団法人として登録されました。現在、個人会員数は、研究者を中心に107人、法人会員数は交通関係、都市地域整備関係、建設・技術関係を中心に37社となっており、当会は、定例の研究会や春・秋の視察会、会報の発行、若手会員の研究支援、鈴木忠義先生によるロングセラー「あて塾」の活動などを行ってきました。また、1994年に設立されたアジア交通学会の中核をなすEASTS-Japanの事務局機能も担っております。

突然、話は変わります。今から10年ほど前になりますが、大学での国土に関する講義を森地先生から引継ぎ、新たに「国土学」として開講することになりました。それまで交通分野や都市分野の教育には何がしか携わってききましたが、国土という大きなスケールでの教育にタッチするのははじめてのことです。農学や林学などの分野の専門家にご協力を賜りながらも、未だに試行錯誤が続いている有様です。というのも、「国土」というのをとらえるのには、分野的にはもちろんのこと、空間的にも時間的にも、大きな「広がり」を把握することが必要で、体系的に教えようとする、これがなかなか難しい分野なのです。そういう意味では「交通」というのはわりと教えやすい。

逆にいうと、「国土」というものの持つ、この無限の「広がり」性（それは宮本常一の民俗学の世界のようです）と、簡単にA⇒Bと理論的に割りきることのできないアンビバレント性こそ

が、「国土」を学ぶことの真の面白さであるようにも思います。それは、「国土」というものを、人間と自然が関わりあいながら地球の表面に創りあげられてきた、自然の産物でもあり、同時にまた人間社会の産物でもあるところの長い歴史の痕跡ととらえれば、当然のことかもしれません。虚心坦懐に「国土」に目を向ければ、古今東西、ポジティブな、あるいはネガティブな数多くの「教え」を得ることができるに相違ありません。私たち、都市や地域づくり、あるいは交通システムをはじめとする社会基盤（インフラストラクチャー）に関わる者にとって、「国土」は人類の先輩たちが踏み固めてきた土俵のようなものです。土俵を十分に知らなくては相撲はとれません。まさに「国土」は「学び」のための「宝の山」のように思います。そういう意味で、「国土は深くて面白い！」というようなことを中村英夫先生にお話したところ、「今ごろ分かったか？」というような顔をされながらも大変喜んでくださったのを覚えています。

そんなことを常々思っているものですから、当会の種々の企画を作るにあたって「国土から学ぶ」というようなあたりを基調において進めたいなあ、などと考えております。当会の運営につきましては、何と云っても、個人会員や法

人会員の皆さんが「今夜の会は出席して良かったなあ」「他の皆さんと交流・懇親ができて良かったなあ」と喜んでくださることを最重視していきたいと考えています。

そのためには、第一に活動の重点化を図ることとし、会の最重点活動を年に5回程度の「イブニングセミナー」と春秋2回の「見学会」に置きたいと思います。第二に企画のテーマ性やストーリー性そしてその一貫性を重視し、時宜を得たテーマについて突っ込んだ話題提供と意見交換、そして関連した現地視察などができるようにしたいと思います。第三にはとみに蛸壺化しがちな若い研究者に実務者との交流の場を与え広い実務界のニーズに接せられるようにするとともに、逆に実務者にも大学の教員や学生と接する場を増やしたいと思います。以上のような視点に立って、当会の主として企画機能を強化するため、新たに、会長の私的諮問機関として、役員級のメンバーによる「企画委員会」を設け、新規企画の立案や重要課題の戦略的検討を行うことにしたいと思います。

筆者の「国土学」と同様、試行錯誤が必要かと思いますが、皆様にはご寛恕のお気持ちとともに尚一層のご支援をお願いできればと考えています。

□ News Letters

事業報告・活動報告 □

■ 第4回通常総会、講演会および懇親会のご報告

さる5月15日（火）18：00より、新事務所が今春に入居した霞が関ビルの35階富士の間において開催されました。

今回は、これまで多大なご尽力、ご指導をいただいていた森地茂政策研究大学院大学教授が代表理事・会長をご退任され、代わって家田仁東京大学教授がご就任されるほか、理事、監事、評議員、幹事の改選が大幅に決議されました。また、新たに役員として企画委員（会長補佐）を任命することも決議されました。その結果、役員等の新体制は次頁のとおりとなりました。

事務所の移転することによって、経費を削減し財政状況を改善する一方で、事業活動に少しでも多くの費用を充当することも確認されました。

新年度の事業計画にあたっての基本的な考え方として、交通・都市・国土というものを識り、それを良いものにしていくという運営趣旨に基づき、企業会員および個人会員から関心を得られる事業を重点化する方向性で考えていくこととした。例えば、会員間の意見交換を活発にできる講演会（イブニングセミナー）および懇親会を増やし、この講演会が春・秋の見学会と連動するようなテーマ性を持たせる等である。このような会員サービスを充実することで、法人会員や女性会員の拡張も企図していくことも表

明されました。

総会に引き続いて、今回は講演会も実施し、家田新会長により『インフラメンテナンス政策のこれから』と題して、まさに時宜を得たご講演をしていただき、約70名の会員が聴講されほぼ満席となりました。

懇親会は隣接ビル内のレストランを貸切で若

やいだ雰囲気の中で開催され、特別顧問の中村英夫、黒川洸、森地茂の先生方もご参加いただき、新任の役員の方々を紹介しながら進められました。最後には、久方ぶりにご参加された鈴木忠義先生から、インフラメンテナンスの重要性についてユーモア溢るるスピーチで締めくくられました。

□ Backyard

事務局通信 □

■イブニングセミナーの開催

合同役員会および総会で紹介されたように、従来の特別講演会を拡大し、イブニングセミナーと称して年に4回程度の講演会を開催する。このうち、春と秋に行うイブニングセミナーは見学会とテーマを同一にして識者に講演や対談いただく。例えば、総会直後のイブニングセミナー1では、家田仁新会長が講演し、6月の見学会では首都高速の新規着工区間と大規模更新区間を見学する。

年間のイブニングセミナー1～4は、およそ以下のスケジュールを組んで実施する予定ですので、期日が近くなりましたら、その都度ご案内いたします。

イブニングセミナー1：会時に6月の春の見学会に関する講演（話題提供1名）

および懇親会

イブニングセミナー2：8月～9月に秋の見学会に関する講演と対談（話題提供2名）

および懇親会

イブニングセミナー3：12月に特別講演会と対談（話題提供2名）および忘年会

イブニングセミナー4：3月～4月に特別講演会と対談（話題提供2名）および懇親会

一般社団法人 計画・交通研究会

理事兼事務局長 水野 高信

副幹事長兼会報編集委員長 日比野 直彦

〒100-6005

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル5F-28

TEL=03-4334-8157 FAX=03-4334-8158

E-Mail=jimukyoku@keikaku-kotsu.org

Homepage =http://www.keikaku-kotsu.org/

(社)計画・交通研究会 役員等の体制

役職(*新任)	氏名(五十音順)	現 職
特別顧問	中村 英夫	東京都市大学 総長(当研究会元会長)
同	黒川 洸	(一財)計量計画研究所 理事長(当研究会元会長)
同(新任)	森地 茂	政策研究大学院大学 特別教授(当研究会前会長)
代表理事、会長	家田 仁	東京大学 教授
理事、副会長	石田 東生	筑波大学 教授
同	屋井 鉄雄	東京工業大学 教授
理事(新任)、幹事長	岩倉 成志	芝浦工業大学 教授
理事、事務局長	水野 高信	(一社)計画・交通研究会
監 事	清水 英範	東京大学 教授
同	久保周太郎	清水建設(株) 第一土木営業本部 本部長
評議員	合場 直人	三菱地所(株) 常務執行役員
同	朝倉 康夫	東京工業大学 教授
同	天野 光一	日本大学 教授
同	伊東 誠	(一財)運輸政策研究機構 運輸政策研究所 調査室主席研究員
同	窪田 陽一	埼玉大学 教授
同	高松 亨	(社)底質浄化協会 審議役
同	田村 亨	室蘭工業大学 教授
同	中村 文彦	横浜国立大学 教授
同	八方 隆邦	東京急行電鉄(株) 取締役
同	林 一成	(一財)計量計画研究所 理事・総務部長
同	林 良嗣	名古屋大学 環境学研究科長・教授
同	原田 昇	東京大学 教授
同	兵藤 哲朗	東京海洋大学 教授
同	廣谷 彰彦	(株)オリエンタルコンサルタンツ代表取締役会長
同	福田 敦	日本大学 教授
同	古澤 廣道	東武鉄道(株) 常務取締役
同	宮本 和明	東京都市大学 教授
同	山本 卓朗	(社)未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム 会長
同(新任)	井上 聡史	政策研究大学院大学 教授
同(新任)	大島 一哉	(株)建設技術研究所 代表取締役会長
同(新任)	小野澤 康夫	三井不動産(株) 常務執行役員
同(新任)	茅野 正恭	鹿島建設(株) 専務執行役員
同(新任)	木村 洋行	大成建設(株) 代表取締役副社長
同(新任)	小室 俊二	中日本高速道路(株) 取締役常務執行役員
同(新任)	只腰 憲久	首都高速道路(株) 取締役常務執行役員
同(新任)	中井 雅彦	東日本旅客鉄道(株) 執行役員 建設工事部長
同(新任)	野焼 計史	東京地下鉄(株) 鉄道本部改良建設部長
同(新任)	藤井 聡	京都大学 教授
同(新任)	本多 均	(株)三菱総合研究所 常務執行役員
同(新任)	山内 泰次	東日本高速道路(株) 取締役常務執行役員
同(新任)	山川 朝生	日本工営(株) 副社長
企画委員(会長補佐)	雨宮 克也	三井不動産(株) 開発企画部環境創造グループ長
同	太田 雅文	東京急行電鉄(株) 都市開発事業本部ビル事業部 統括部長
同	大嶋 匡博	大成建設(株) 土木営業本部 副本部長
同	中山 等	鹿島建設(株) 海外土木支店 技師長
幹事長	岩倉 成志	芝浦工業大学 教授
副幹事長	日比野 直彦	政策研究大学院大学 准教授
幹事長補佐(新任)	井料 青海	東日本旅客鉄道(株) 建設工事部企画グループ
幹事長補佐(新任)	王尾 英明	清水建設(株) 第一土木営業本部
幹事長補佐(新任)	多田 勝	大成建設(株) 土木営業本部営業部長
同	金子 雄一郎	日本大学 准教授
同	高田 和幸	東京電機大学 教授
同	寺部 慎太郎	東京理科大学 准教授
同	福田 大輔	東京工業大学 准教授

2013.3.15